



定期貸付を必ずしも五年以内に限るト云  
フコトモドウカ、其ノ他出資者ノ所屬  
團體ノ關係ニ付キマシテモ、先程チヨ  
グト御話ガ出マシタヤウナ馬車會ナシ  
カヘ今度脱退シナケレバナラナイト云  
ファウナコトニナリマス、又市街地信  
用組合ニ付キマシテハ、是ハ庶民金庫  
ニ行ク、市街地信用組合ノミノ中央金  
融機關ヲ作ツテ貰フト云フヤウナコト  
デ所屬團體ノ中ニハ色々整理スルモノ  
ガ将来起ツテ來ルノチャナイカ、又此  
ノ賓ノ所謂民主化ト云フコトカラ言ヒ  
マシテ、斯ウ云フコトガ良キカ惡イカ  
ト云フコトハ、私ノ考モ決ツテ居ナイ  
ノアリマスガ、中金ノ役員ノ何ガ、  
全農アタリガア云フヤウナ形セ役員  
ヲ選出シテ居ルノニ對シテ、依然トシ  
テ政府任命ノ途行クコトガ宜イノカ  
ドウカ、或ハ中金ノ事業ノ範囲ト云フ  
モノハ飽々迄團體貸付一本槍デ今後差  
支ナイカト云フヤウナ、色々問題ガア  
ルト思フノアリマス、一方又現在ノ  
農業團體法ノ農業協同組合法ト云フヤ  
ウナモノニ御改メニナルト云フヤウナ  
イ将来中金法全體ニ付テ根本的ニ何ト  
カ之ヲ全體ニ情勢ニ合フヤウニ御改メ  
ニナルト云フ御考ヲオ持チゴザイマ  
スカ、或ハ其ノ必要ガナイ、此ノ儘  
○政府委員(石川準吉君) 御答へ申上  
ゲマス、只今御質問ハ誠ニ御尤モノ  
コトデアリマシテ、私共ト致シマシテ  
十分痛感致シテ居ルノアリマス、從  
ヒマシテ書リく我々ノ間ニ於キマシ  
テ研究機關的ナモノヲ設ケマシテ、全

體的ナ問題ニ付キマシテ檢討致シテ居  
ルノアリマス、斯ウ云フヤウナ情勢  
團體ノ關係ニ付キマシテモ、先程チヨ  
グト御話ガ出マシタヤウナ馬車會ナシ  
カヘ今度脱退シナケレバナラナイト云  
ファウナコトニナリマス、又市街地信  
用組合ニ付キマシテハ、是ハ庶民金庫  
ニ行ク、市街地信用組合ノミノ中央金  
融機關ヲ作ツテ貰フト云フヤウナコト  
デ所屬團體ノ中ニハ色々整理スルモノ  
ガ将来起ツテ來ルノチャナイカ、又此  
ノ賓ノ所謂民主化ト云フコトカラ言ヒ  
マシテ、斯ウ云フコトガ良キカ惡イカ  
ト云フコトハ、私ノ考モ決ツテ居ナイ  
ノアリマスガ、中金ノ役員ノ何ガ、  
全農アタリガア云フヤウナ形セ役員  
ヲ選出シテ居ルノニ對シテ、依然トシ  
テ政府任命ノ途行クコトガ宜イノカ  
ドウカ、或ハ中金ノ事業ノ範囲ト云フ  
モノハ飽々迄團體貸付一本槍デ今後差  
支ナイカト云フヤウナ、色々問題ガア  
ルト思フノアリマス、一方又現在ノ  
農業團體法ノ農業協同組合法ト云フヤ  
ウナモノニ御改メニナルト云フヤウナ  
シテ、此ノ際ニ全般的ナ改正ヲ行フノ  
ハドウカト云フヤウナ見透シカラ致シ  
マシテ、最小限度必要ナ點ダケヲ採り  
上げマシテ提出致シタ次第デアリマシ  
テ、引續キマシテ全體ノモノニ付キマ  
シテハ十分検討ヲ加ヘマシテ御趣旨ニ  
添ヒタヒ思ヒマス

○子爵北條鯨八君 昨日モチヨツト御  
尋ヲシタノデゴザイマスガ、戰時中ニ  
軍需融資トシテ貸付ヲサレマシタ、是  
ハ戰時金融金庫カラ貸付ケラレテアル  
ノアリマスガ、今度ノ改正ニ依リマ  
シテ戰時金融金庫ガ削除サレマシタ、  
サウシマズト、農林中央金庫戦時金  
融金庫トノ間ノ整理ト申シマスカ、決  
済ハドウ云フコトニナルノデゴザイマ  
セウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○政府委員(石川準吉君) 御答へ申上  
ゲマス、只今御質問ハ誠ニ御尤モノ  
コトデアリマシテ、私共ト致シマシテ  
十分痛感致シテ居ルノアリマス、從  
ヒマシテ書リく我々ノ間ニ於キマシ  
テ研究機關的ナモノヲ設ケマシテ、全

體的ナ問題ニ付キマシテ檢討致シテ居  
ルノアリマス、斯ウ云フヤウナ情勢  
團體ノ關係ニ付キマシテモ、先程チヨ  
グト御話ガ出マシタヤウナ馬車會ナシ  
カヘ今度脱退シナケレバナラナイト云  
ファウナコトニナリマス、又市街地信  
用組合ニ付キマシテハ、是ハ庶民金庫  
ニ行ク、市街地信用組合ノミノ中央金  
融機關ヲ作ツテ貰フト云フヤウナコト  
デ所屬團體ノ中ニハ色々整理スルモノ  
ガ将来起ツテ來ルノチャナイカ、又此  
ノ賓ノ所謂民主化ト云フコトカラ言ヒ  
マシテ、斯ウ云フコトガ良キカ惡イカ  
ト云フコトハ、私ノ考モ決ツテ居ナイ  
ノアリマスガ、中金ノ役員ノ何ガ、  
全農アタリガア云フヤウナ形セ役員  
ヲ選出シテ居ルノニ對シテ、依然トシ  
テ政府任命ノ途行クコトガ宜イノカ  
ドウカ、或ハ中金ノ事業ノ範囲ト云フ  
モノハ飽々迄團體貸付一本槍デ今後差  
支ナイカト云フヤウナ、色々問題ガア  
ルト思フノアリマス、一方又現在ノ  
農業團體法ノ農業協同組合法ト云フヤ  
ウナモノニ御改メニナルト云フヤウナ  
シテ、此ノ際ニ全般的ナ改正ヲ行フノ  
ハドウカト云フヤウナ見透シカラ致シ  
マシテ、最小限度必要ナ點ダケヲ採り  
上げマシテ提出致シタ次第デアリマシ  
テ、引續キマシテ全體ノモノニ付キマ  
シテハ十分検討ヲ加ヘマシテ御趣旨ニ  
添ヒタヒ思ヒマス

○子爵北條鯨八君 昨日モチヨツト御  
尋ヲシタノデゴザイマスガ、戰時中ニ  
軍需融資トシテ貸付ヲサレマシタ、是  
ハ戰時金融金庫カラ貸付ケラレテアル  
ノアリマスガ、今度ノ改正ニ依リマ  
シテ戰時金融金庫ガ削除サレマシタ、  
サウシマズト、農林中央金庫戦時金  
融金庫トノ間ノ整理ト申シマスカ、決  
済ハドウ云フコトニナルノデゴザイマ  
セウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○政府委員(石川準吉君) 御答へ申上  
ゲマス、只今御質問ハ誠ニ御尤モノ  
コトデアリマシテ、私共ト致シマシテ  
十分痛感致シテ居ルノアリマス、從  
ヒマシテ書リく我々ノ間ニ於キマシ  
テ研究機關的ナモノヲ設ケマシテ、全

體的ナ問題ニ付キマシテ檢討致シテ居  
ルノアリマス、斯ウ云フヤウナ情勢  
團體ノ關係ニ付キマシテモ、先程チヨ  
グト御話ガ出マシタヤウナ馬車會ナシ  
カヘ今度脱退シナケレバナラナイト云  
ファウナコトニナリマス、又市街地信  
用組合ニ付キマシテハ、是ハ庶民金庫  
ニ行ク、市街地信用組合ノミノ中央金  
融機關ヲ作ツテ貰フト云フヤウナコト  
デ所屬團體ノ中ニハ色々整理スルモノ  
ガ将来起ツテ來ルノチャナイカ、又此  
ノ賓ノ所謂民主化ト云フコトカラ言ヒ  
マシテ、斯ウ云フコトガ良キカ惡イカ  
ト云フコトハ、私ノ考モ決ツテ居ナイ  
ノアリマスガ、中金ノ役員ノ何ガ、  
全農アタリガア云フヤウナ形セ役員  
ヲ選出シテ居ルノニ對シテ、依然トシ  
テ政府任命ノ途行クコトガ宜イノカ  
ドウカ、或ハ中金ノ事業ノ範囲ト云フ  
モノハ飽々迄團體貸付一本槍デ今後差  
支ナイカト云フヤウナ、色々問題ガア  
ルト思フノアリマス、一方又現在ノ  
農業團體法ノ農業協同組合法ト云フヤ  
ウナモノニ御改メニナルト云フヤウナ  
シテ、此ノ際ニ全般的ナ改正ヲ行フノ  
ハドウカト云フヤウナ見透シカラ致シ  
マシテ、最小限度必要ナ點ダケヲ採り  
上げマシテ提出致シタ次第デアリマシ  
テ、引續キマシテ全體ノモノニ付キマ  
シテハ十分検討ヲ加ヘマシテ御趣旨ニ  
添ヒタヒ思ヒマス

○子爵北條鯨八君 尚此ノ際伺ヒタイ  
ノデアリマスガ、確力第八十六議會  
兼ネルト思ヒマス

○子爵北條鯨八君 尚此ノ際伺ヒタイ  
ノデアリマスガ、確力第八十六議會  
兼ネルト思ヒマス

合ノ方デ行キマスレバ、誰ガアリマシテモ、其ノ組合ニ對シテ、免許サヘ與ヘレバ差支ヘナイモノデアルカラ、組合ニ態免許ヲ與ヘテ、サウシテソレヲ扱ハナケレバナラヌト云ヤウナコトガ私共カラ見ルト、ドウモ分リ兼ネルヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、シテ見ルト、結局サウナルト云フト、蠶種協同組合、種ノ方ノ協同組合ノ組合員ニナツテ居ル者ハ、自分トシテモ免許ヲ持チ、又組合トシテ免許ヲ持ツト云フ風ナ所謂二重免許ニナルト云フヤウナ氣ガ致スノデアリマス、今ノ蠶種業ニ關スル場合ハ、二重免許ノヤウナコトデ非常ニ困ツタコトガアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ機會ニ於キマシテハ、寧ロ蠶種協同組合ノ構成員ニナツタ者ハ、其ノ免許ヲ取消シテ、サウシテ蠶種協同組合ニ免許ヲ與ヘテアリサヘスルナラバ、革支ナイヤウナ氣ガ私ハ致スノデアリマス、之ニ對シテ蠶絲局長ノ御答ヲ承ツテ、今後私共ノ蠶絲業ノ進ムベキ途ヲ進ンデ行ギタイト思フノデアリマスガ、之ヲ一鷗伺ツテ見タイト思ヒマス

テ居ルノデアリマス、例ヲ採ツテシマカルト種子ニ付キマシテ協同組ヲ作リマス場合ニハ、矢張リ種子トテノ蠶種業者ノ方ガ組合員ニナレルデアリマシテ、達ツタ種類ノ、例ヘ、製絲ヲヤツテ居ル方ガ種子ノ協同組ニ御入リニナルト云フコトハ出来イ、其ノ場合ニハ種子ノ業者トシテ資格ヲ得テ入ツテ戴クト云フ風ニ現解釋ヲ致シ、又免許ヲ致シテ居リニアリマス、テ養蠶家等ニ付キマシテハ自分ノ製造致シマシタ爾ノ加工ヲ協同デルト云フ場合ガアリマスノデ、養蠶家アル、斯ワ云フヤウナ場合ニハ養蠶家製絲ノ協同組合ノ免許ヲ致シテ居ルデアリマス、現在免許ヲ受ケテ居リスル業種ト違ツタ事業ヲ營ム協同組合ニハ入レナイト云フ風ニ解釋ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、只今ノ點ハ左様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、以シ是ドウシテモサウ云フコトデハ都合ダト云フコトデゴザイマスレバ、更ニ研究ヲ致シマシテ、改タルベキ點シテハ、左様ニ、今申シマシタヤウ解釋ヲ致シタイト存ジテ居リマス○委員外議員(片倉兼太郎君) 先程モガ御尋不致シマシタノハ、蠶種ノ方ニ重免許ノコトヲ御答へ願ヒタイノアリマス

二重免許ト云フ方法ヲ取ツテ居ルノデ  
アリマシテ、現在ノ處サウスベキデア  
ラウト考ヘテ居ルノデゴザイマス  
○委員外議員(片倉兼太郎君) サウ致  
シマスト、私共不可解ニ思フハ、養  
蠶ニ從事スル者ガ製絲ヲ致ス場合ニ於  
テ、養蠶業者ニハ製絲ノ免許ヲセズシ  
テ、サウシテ製絲ノ協同組合ガ出来ル  
ト思フノデアリマスガ、蠶種業ダケド  
ウ云フ譯デ其ノ二重免許ヲジナケレバ  
ナラヌノデアリマスカ、私ハ此ノ二重  
免許ト云フコトハ非常ニ弊害ガ多イト  
思フノデアリマス、考ヘテ見ルト云フ  
ト、構成員ニナツタ以上ハ其ノ免許ヲ  
與ヘタ者ノ免許ヲ取消シナヘスレバ宜  
イノデス、假ニ極端ナ例ヲ申シマスル  
ト云フト、株式會社ノ株式ヲ所有シテ居  
ル者ナルコトニナレバ、蠶種ナラ蠶  
種ヲヤルトスレバ、其ノ株式會社ノ株  
主ニ所謂免許ヲ與ヘルト同ジヤウナ意  
味ニ私共モ取レテ因ルノデアリマス  
ガ、結局私ハ此ノ種子ノ協同組合ニ入  
ル者ハサウ云フコトデ受ケテナケレバ  
協同施設モヤルコトガ出來ヌト云ソコ  
トナラバ、一旦免許ヲ與ヘルコトハ宜  
イガ、諾リ協同組合ニ加入シテシマ  
フ、一つノ團體ニ入シタラバ、其ノ  
入シタ人ダケハ免許ヲ取消シテ行ツテ  
然ルベキモノノデハナカラウカ、斯ウ思  
ハレルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、  
サウシナケレバ先程申シマシタヤウ  
ニ、製絲ニ關係アルモノデ養蠶家ガ製  
絲ヲスル時ニハ養蠶業者ニ製絲ノ免許  
ヲ與ヘル、サウシテ今度ハ製絲協同施  
設組合ヲ排(サセルト云フヤウナコトニ  
ナリハシナイト思ヒマスガ、蠶種ト  
製絲ノ御取扱ニ二重ノ關係ガアルノデ  
アリマスガ、之ニ對シテト云フヤウナコトニ  
ナ御所見ヲ御持チデアリマセウカ、伺

○政府委員(佐野憲次君) 薩摩家ガ協同シテ自分ノ造ツタ繭ノ處理ヲスル、是ハ此ノ協同組合トシテ法令ニハツキリ書イテアルノデアリマス、自分ノ生産シタモノヲ協同デ行フト云フコトハ協同組合トシテ出來ルノデアリマス、<sup>ス</sup>、<sup>ハ</sup>、<sup>リ</sup>、<sup>カ</sup>、<sup>レ</sup>、<sup>テ</sup>、<sup>居</sup>、<sup>ル</sup>、<sup>ノ</sup>、<sup>デ</sup>、<sup>ア</sup>、<sup>リ</sup>、<sup>マ</sup>、<sup>ス</sup>、<sup>、</sup>、<sup>唯</sup>製絲業者ガ種子ノ協同組合ニ入ルト云フコトハ、製絲業ト云フコトカラ種子ノ製造ト云フコトハ當然ニハ出テ參ラナイ前ニ種子ノ免許ヲ受ケテ戴クト云フ主義ニ解釋ヲ取シテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ組合デ免許ヲ受ケタ場合ニノデアリマシテ、一度協同組合ニ入ルト云フ御詫デアリマスガ、是ハ私共ノ解説ト致シマシテハ、會社ノ株主トハ違フノデアリマシテ、個々ノ種子ノ業者ガ協同ラシテ一ツノ施設ヲ致スノデアリマシテ、協同組合ヲ造リマシテモ、組合員ハ依然トシテ業者デアル、所謂協同ノ組合デアルト云フ解釋カラサウ云フ二重免許ト云ヒマスカ、方法ヲ取シテ居ルノデアリマス、此ノ點ハサウ云フ風ニ御承知ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

今ハ自由主義ト申シマスカ、斯ワニ  
時代ニ齧絲業ノ關係ダケハ種子デモ製  
絲デモ御役所ノ許可ガナケレバ出來ナ  
イノデアリマス、許可ガアツテコソ始  
メテ其ノ仕事ガ出來ルノデアリマスカ  
ラ、許可ノ權利ヲ役所ガ持ツテ居ル以  
上ハ、二重免許ニ爲サツテ置カナクテ  
モ宜イモノデハナカラウカト思フノデ  
アリマス、是ハ何故私ガ二重免許ノコ  
トヲ諄々申スカト譯ヒマスト、嘗テ戰  
爭中ニ陸海軍ノ被服ノ關係デ日本ノ製  
絲業者ヲ一團トシテ、サウシテ國策ニ  
副フヤウニシタコトガアルノデアリマ  
ス、其ノ場合ニ於キマシテ、總テガ詰  
リ言ツテ見ルト免許モ其ノ會社ヘシタ  
ノデアリマス、尤モ工場トデアリマス  
ケレドモ、免許ヲシタ、外ニスルコト  
ガ出來ナイノデアリマスカラ、サウ云  
フヤウナ場合カラ行キマシテモ、全部  
ノ方ノ營業權ト云フモノハ、二重デナ  
クテ一ツニシテオ置キニラナケレ  
バ、今後場合ニ依ツテ種々ノ弊害ガ生  
ジ易イト私ハ恩フノデアリマスカラ、  
ソレニ付テハドウカ十分ニ一ツ御檢討  
ヲ願ツテ、今後一ツノモノガ一方へ入  
ツテ、其ノ組合ガ免許ヲ持ツテ居ル、  
又自分モ持ツテ居ルト云フコトハドウ  
モ必要ガナイト思フノデアル、將來必  
要ガアレバ政府デ免許ヲ御許シニナ  
レバ宜イノデアリマスカラ、サウ云フ  
コトヲナサルコトガ、非常ニ將來禍根  
ヲ貽ズベキモノダと思フノデアリマス  
カラ、之ニ付テハ一ツ……以上御伺  
ヒ致シタクハアリマセヌガ、一ツ御研  
究ヲ願シテ、サウシテ弊害ノナイヤウ  
ニ一ツ願ツテ置キタイト思フノデアリ  
マズ、私ハは以上申上ゲテモ同ジデア  
リマスカラ、此ノ質問ハ打切りマス  
ガ、十分御研究ヲ願シタ上デ御配慮ヲ

○委員長(公爵桂廣太郎君) ソレデハ  
委員ノ質問ヲ繼續致シマス、只今開拓  
局長ト鑑査局長ト御見エデスカラ……  
○子説北條魚八君 此ノ際本法案ニ關  
係ノアリマスル先年政府デ決定サレマ  
シタ緊急開拓事業ノ其ノ後ノ經過ト、  
並ニ將來ノ日透ニ付テ、開拓局長カラ  
御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○政府委員(笛山茂太郎君) 只今北條  
サンカラ御尋ガアリマシタ緊急開拓計  
畫ノ其ノ後ノ實績ト言ヒマスカ、サウ  
言ツタ方面ニ付キマシテ御説明ヲ申上  
ゲマス、昨年ノ十一月閣議デ決定セラ  
レマシタ緊急開拓計畫ハ、大體ニ於テ  
滑り出シタノハ十二月頃デゴザイマシ  
テ、實ハ豫定ヨリモ相當發足ガ遅レタ  
ノデゴザイマス、從ヒマシテ當初去年  
ノ計畫ニ於キマシテハ、今年ノ三月迄  
即チ昭和二十年度ニ於キマシナハ、開  
墾ニ付キマシテハ十七萬町歩……九萬  
二千町歩、土地改良ニ付キマシテハ約  
七十萬町歩ト云フヤウナ計畫ラシテ、  
ソレニ付クツテ實施ヲ致シテ居ツタノデ  
ゴザイマスガ、其ノ實績ヲ見マスル  
ト、當初豫定サレテ居リマシタ機械、  
即チ「トラクター」トカ「プラウ」「ハロ  
ウ」、サウ云ツタ機械開墾ニ依ル部面  
ヲ相當豫定シテ居リマシタ處、ソレ等  
ノ生産ガ恩ツタヨリ進捗シマセヌデ離  
隔ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、ソレ  
カラ何分ニモ初メテノコトデゴザイマ  
スノデ、適地ノ選定等ニ付キマシテ、  
色々地方ニ依リマシテハマゴツイタ、  
不便モアリマスノデ、結局ニ於キマシ  
テ三月ニ於テハ當初ノ豫定ニ比べテ見  
マスルト大體七割程度ノ實績シカ上ツ  
テ居ラナイノデアリマス、又入植豫定

アルノデゴザイマス、ソコヂ我々トシ  
マシテハ、兎ニ角斯ウ云ツタ今迄ニ知  
ラレタ「ウォーンランド」ヲ對手ニシテ  
其處ニ健全ナル營農形態ヲ作ラケテ  
バナラヌト云フコトデアリマスルノ  
デ、土性、土壤ノ改良、之ヲ何ヨリチ  
先ニシナケレバナラヌト云フコトデ、  
折角其ノ方面ノ對策ニ付テ努力ヲ致  
テ居ルノデアリマス、併シナガラ御存  
知ノヤウニ、茲ニ於テ肥料事情ガ斯  
ニ窮屈ニナツテ來テ居ルノデアリマン  
テ、結局堆肥既體ニ依ツテ土性改良、土  
壠ノ改良ヲヤラナケレバナラヌト云フ  
事態ニ差掛シテ居ルノデゴザイマスガ  
ガ、是亦家畜ノ飼料等ノ關係ニ依リマ  
シテ想フヤウニ運バナイ、結局石灰施  
用ニ依リマシテ酸性土壤ノ改良ガ、幾  
分好轉スルノデヘナイカト云フ風ニ考  
ヘテ居ルノデアリマス、又食糧ノ問題  
ニ付キマシテモ、當初若干ノ加配ヲ致  
シテ居ツタノデゴザイマスガ、是等ハ  
開拓農民ニ對スル食糧ノ加配ト云フモ  
トモ、此ノ全體的ナ食糧危機ノ際ニテゴ  
ザイマスノデ、サウ预定通り、當初ニ  
計畫通り進ムト云フ譯ニハ參リマセマ  
ノデ、地方ニ依リマシテハソレドヽ縣  
ノ事情ニ依リマシテ相當減配ヲ致  
テ居ルト云フヤウナ事情ニアルノデゴ  
ザイマス、サウ云ソタ譯デ、今後ノ我  
我ノ見透シ、計畫致シマシテハ、二  
十一年度ニ於キマシテハ大體大規模  
墾ガ約五萬町歩、小規模開墾ガ八萬町  
歩、ソレカラ國營ノ直轄ノ事業ガ三千  
町歩、合セテ十三萬三千町歩ノ開墾ヲ  
致シタイト云フコトデ計畫ヲ立テテ居  
ルノデゴザイマス、又本年度カラハ新  
タニ干拓ヲ實施致シタイ、是ハ色々規  
則的ニハ面倒ナ問題ガアルノデゴザイ  
マスガ、増産ノ方面カラ見マスト重

ニ角土壌ガ相當肥エテ居リマスノデ、是等ノ方面ニ付テモ速急著手致シテ  
リタイト云フコトデ、全國ニ於テ大體十三地區ヲ預定致シマシテ、專ラ調査  
設計ヲ致シ、サウシテ來年度ノ事業取掛ル爲ノ色々ノ資材ノ準備調達等  
努メテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘニ居リマス、勿論其ノ中テ今年ノ中ニ  
材其ノ他ノ準備ガ完了致シマシタ地圖ニ於キマシテハ、本年度カラモ直ぐ  
工シテ参りタイト思ツテ居ルノデゴザム、尙其ノ外ニ土地改良ガアル、  
デゴザイマスガ、是ハ第四次ノ土地改良ハ大體預定ノ計畫通り、此ノ田植  
時期マテ完了ヲ致シテ居ルノデゴザンマス、ソニテ是カラ土地改良事業ハ  
良ハ大體預定ノ計畫通り、此ノ田植時期マテ完了ヲ致シテ居ルノデゴザ  
ム、ソニテ是カラ土地改良事業ハ、年ノ秋カラ來年ノ植付迄第五次ノ土地  
改良トシテ大體九十萬町歩ノ面積ヲダ  
ゲ關係方面ト窓ト其ノ規模、計畫等  
標ニ致シマシタ所ノ計畫ヲ以チマシテ付  
キマシテ、機ハ然シテ居リマセヨ  
ガ、我々ノ希望ト致シマシテハ、先程申上  
シ上ダタヤウニ、九十萬町歩ヲ對象  
シテ進ンデ参りタイト云フ計畫ヲ持  
テ居ルノデゴザイマス、本年度ハ非常  
ニ海外カラノ引揚者、殊ニ滿洲開拓者  
等々、相當歸ソテ來ルコト豫想セ  
レマスノデ、是等ノ海外引揚民、其  
他復員者、故ニ其ノ他ノ失業者ハ  
ナイト云フ狀況デザイマシテ、我  
ノ方デハ何トカシテ出來ルダケ澤山  
人ニ是等ノ希望ヲ還ダセサセテ参りタイ  
ト云フ風ニ思ヒマシテ、今開墾適地

調査其ノ他ニ付キマシテ中央及ビ地方  
廳ソレハ、手ヲ分ケマシテ、折角努力  
中デゴザイマス、尙北海道トノ關係デ  
ゴザイマスガ、北海道ガ此ノ緊急開拓  
計畫ニ於テ占メル所ノ地位ガ相當ノ比  
重ガ重イノゴザイマシテ、北海道ト  
内地トノ關係、殊ニ内地カラ北海道ニ  
入植スルト云フ方々ノ輿論其ノ他ニ付  
キマシテハ、只今内務省及ビ北海道廳  
方面ト寶質的ニ聯繫ヲ執ツテ、ソニニ緊  
密ナル調整ヲ図ツテ參リタイト思ツテ  
居ル次第デゴザイマス、以上ノヤウナ  
工合デ、今後ノ開拓事業ハ色々ニ面ニ  
於テ困難性ヲ來シテ居ルノデゴザイマ  
スガ、我々ト致シマシテハ、兎モ角モ國  
土ガ斯梯ニ狹クナツタ現在ニ於キマシ  
テハ、國土利用ノ高度化ト云フコトニ  
是非共盡シマシテ、サウシテ澤山ノ人  
ニ出來ルダケ完全ナル生業ヲ與ヘル、  
一面又ソレ等ニ依リマシテ現在逼迫シ  
テ居ル所ノ食糧難ノ打開ノ一助ニモシ  
メイト云フコトデ進シテ居ルノデゴザ  
イマシテ、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ  
ハ各方面ノ又御援助ヲ願ヒ致シタイ  
ノデゴザイマス、概略開拓事業ニ付キ  
マシテ現在ノ實情ヲ御説明申上ゲマ  
ス

ウナ原因、ソレカラサウ云ツタ土地方見付カツテモ、其處ニ住ヒテ致シテ開墾ニ從事スルト云フ住宅ノ問題ガアル、資材其ノ他ノ關係上ナカノ直グニハヤリ難イト云ツタヤウナ關係、又開墾デハ御承知ノ通り相當奥地ニアル關係上、其處ニ於テ食糧其ノ他ノ供給ヲ十分ニ致スト云フコトハ困難デアルト云フ色々ナ事情ニ基クモノデアルノデザイマス、我々ト致シマシテハ何トシテモ、此ノ入植事業ヲ進メテナルニハ先ヅ其ノ社會的ニ見テモ、又自然的ニ見テモ立派ナ開墾ノ適地ヲ見付ケテガルノガ先決ト考ヘマシテ、ソレニハ先程申上げタヤウニ開墾適地調査班ト云フヤウナモノヲ、中央、地方ニ於テ編成シマシテ、現在調査ニ從事中デゴザイマス。

〔異議ナント呼フ者アリ〕

○委員長(公爵桂廣太郎君) 委員外ノ發言ヲ求メテ居リマスガ、許可スルコトニ御異議アリマセヌ。

○委員外議員(山地土佐太郎君) 今度ノ法案デ大分食糧ノ増産ニ寄與スルコトノ非常ニ多イコトニナリマシタコト

ノ貸出ニ付テ認可制ガ、我國デハマア從來カラ何事ニ依ラズ斯ウ云フ代物ハ認可ベキト云フコトニナツテ居ル

ノデスガ、終戦後ノ前々ノ情勢ヲ見テ参リマスト、斯ウ云フ認可ハ宜クナイト云フ空氣ガ多イノデアリマス、モウ

是ダケノモノヲ戴イアルノダカラモトシタラ今日ノ非常ナ困難ニナツテ

ハデス、之ヲサウ云フ場合ニ躊躇シテ色ナ方面ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナ

コトノ責任ヲ持ツテ居ル金融業者デハ御尤モナコトナノデス、ケレドモ時勢

リマセヌケレドモ、鬼ニ角マア「バラ

ンス」ハソレデ蔽ウテ行クヤウニナツ

テ居ル、然ルニソレニ對スル金融ヲ圖

ル面ニ於テハナカノ神經過敏デビックリシテ居ル、是ハ御尤モナコトナノ

方へ預金ノヤウナモノガゴザイマセウカ、ソレガ御分リニナツテ居レバ承り

タインデアリマス。

○政府委員(石川準吉君) 第一項ノ認可ノ問題デゴザイマスルガ、本問題ニ

付ギマシテハ、御質問ノヤウナ御考モ多々アルト存ジマス、併シナガラ現狀ニ於キマシテハ農林中央金庫ダケデハ

ナク、他ノ特殊金融機關ニ付キマシテ同様ナ制度ガ設置サレテ居リマス、農

機関全體ニ亘リマスル色々再検討ノ機會ニ於キマシテ、此ノ問題ニ付キマ

シテハ償東ニ考究致シタイト思ツテ居ル、斯ウ云フ意味デ、前ノ「命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノトハ意味ガ違

ト云フノハ、十五條ノ一項デハ、外へ運用シテハイカヌ、是ハ命令ヲ以テ定メ併シナガラ今度新タニ差シ加ヘル方ノ

十五條ノ二ノ「命令ノ定ム」ト云フノトハ命令ノ定ム、斯ウ私ハ解シタノデス

ケレドモ、如何デスカ

○政府委員(石川準吉君) 今回ノ十五條二ノ挿入規定、臨時暫定的所謂例外規定デゴザイマスノデ、一般的な餘裕金ノ運用ニ付キマシテハ現條ニ依

テ行キマスガ、此ノ例外規定ノ分ニ付

ノデアリマス。

○諸橋久太郎君 參考資料ニ戴イタ中

ニ付テハ内外ノ情勢ニ考ヘテ除々ニ御見付カツテモ、其處ニ住ヒテ致シテ開墾ニ從事スルト云フ住宅ノ問題ガアル、資材其ノ他ノ關係上ナカノ直グニハヤリ難イト云ツタヤウナ關係、又開墾デハ御承知ノ通り相當奥地ニアル關係上、其處ニ於テ食糧其ノ他ノ供給ヲ十分ニ致スト云フコトハ困難デアルト云フ色々ナ事情ニ基クモノデアルノデザイマス、我々ト致シマシテハ何トシテモ、此ノ入植事業ヲ進メテナルニハ先ヅ其ノ社會的ニ見テモ、又自然的ニ見テモ立派ナ開墾ノ適地ヲ見付ケテガルノガ先決ト考ヘマシテ、ソレニハ先程申上げタヤウニ開墾適地調査班ト云フヤウナモノヲ、中央、地方ニ於テ云ウテモ物ヲ増産セネバイカヌ、増産ヲ十

ナリマスガ、増産ヲスル根幹ニ云ウテモ物ヲ増産セネバイカヌ、増産ヲ云フナリモノ工場ナリ、船舶ナリ、設備ガ早ク出來ヌト云フト、増産ガ出來ヌ、處ガ其ノ設備ト云フモノハ今物ニ依ツテ十倍或ハ二十倍、今迄十萬圓貨出シテ居ルノガ、百萬圓、二百萬圓、

斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、當業者モ設備ニ厖大ナ金ノ掛ルコトハ非常ニビックリシテ居ル、驚イ

テ居ル、ケレドモソレニ對シテ又由ツテ生ズル所ノモノを五倍、十倍ニナツ

セ、ソレガ極メテ、所謂漁村ニ上ルベキ額ガ相當トイデスガ、其ノ割ニ中央金

庫ノ方へ入ツテ來テ居ラニヤウニ思ハレマスガ、何カ其ノ回収ニ付テ不十分

コトハアルノデアリマスマスガ、凡ナ點ガアルノデアリマスマスデセウ

ドウ云フ御考ヲ特ツテ居リマスデセウカ、モウ一ツノ點、最近漁村ノ方ハ相當

意致シマシテ重點的ナモノニ付キマシテハ不合理ノナイヤウニ致シタイト思

ヒマス、第三ノ點ニ付キマシテハ、現

在漁村カラ來テ居リマス所ノ貯金ハ水

産業團體ヲ通ジテ來テ居ルノデアリマスガ、約三千五百萬圓程度デアリマス、之ニ對シマシテ漁村關係ニ貸シテ居ル中央金庫ノ貸出ハ一億八千萬圓程

度トナツテ居リマス、御参考迄ニ申上

ゲテ置キマス。

○委員外議員(山地土佐太郎君) 能ク

分リマシタガ、今ノ三千萬圓ト云ウノハ非常ニ少イヤウニ思フノデス、マサ

カ全部退藏シテ居リハセヌト思ヒマス

ト相當ニ金ガナケレバナラス、アル筈

デスカラ、十分ニ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス。

○中村藤兵衛君 私ハ御提案ニナツタ此ノ法文ニ付テ、チヨット簡単ナコト

ヲシテ御伺ヒ致シタ伊思ヒマス、農

林中央金庫法ノ第十五條ニ於キマシテ

其ノ第二項ニ付ツテ行クシテ「前項ノ餘

裕金運用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ

以テ之ヲ定ム」トスル、詰リ改正案ノ第十五條ノ二ニハ、第十五條ノ二項ニ該當ス

ルヤウナ規定ガナインデアリマスルケ

ト云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、ウデスカ

キマシテハ、十五條ノ二ニ於キマシテ付テ御答ヘ申上ゲマス、今恒ノ改正ニ於

「農林中央金庫ハ特ニ必要アリト認メタル場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ

コトヲ譲ツテ居ルノデゴザイマシテ、主務大臣ノ命令ニ依リマシテ色々ナ規定ヲ設ケテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リ

ト云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、ウデスカ

キマシテハ、十五條ノ二ニ於キマシテ付テ御答ヘ申上ゲマス、今恒ノ改正ニ於

ヒマスカ、ソレノ金額ノ内容ト云フヤ  
ウナモノノ拜聴致シタインデアリマス  
○政府委員(石川準吉君) 外國證券ノ八億八千七百六  
萬四千圓デスカ、之ノ内譯ノ明細ト云  
内譯ノ金額デコザイマスガ、澤山ゴザ  
イマスガ申上ゲマス、滿洲國ノ公債ガ百  
三十萬四千十六圓、南滿洲鐵道ノ社債  
ガ一億一千百八十四萬七千七百七十九  
圓、滿洲重工業ガ四千五百三十六萬二  
千五百九十三圓、満洲電業ガ五千一百  
十三萬三千三百三十七圓、滿拓公社ガ  
四千二百九十一萬七千四百五十七圓、滿  
洲興業債券ガ三千五百七十三萬八千五  
圓、滿洲鴨綠江ガ三千三百二十八萬七千  
三百三十二圓、舊昭和精鋼所ガ七百三  
十九萬五千四百九十圓、舊本溪湖鐵工  
所ガ二百九十四萬二千二百五十九圓、  
滿洲電々ガ六百三萬八千七百二十五  
圓、朝鮮殖產ガ一億二千六百二十九萬  
二千五百十六圓、朝鮮電業ガ四千九  
四萬六千四百七十九圓、朝鮮鴨綠江ガ  
百九十八萬三千圓、東洋拓殖ガ三千二  
百二十八萬四千九百七十五圓、日本窒  
素ガ三千六百八十二萬九千一百六十一  
圓、臺灣電力ガ一千九十三萬二千五百  
四十五圓、臺灣拓殖ガ二千八百八十六圓、南  
洋拓殖ガ二千八十八萬六千九百五十  
圓、南洋開發ガ一億四千九百四十萬圓  
斯様ニナツテ居リマス

○政府委員(石川準吉君)　此ノ外國證券ニ付キマシテハ、外ノ金融機關ト同様デ、現在ノ所ニ於キマシテハドワ(評定ニナル)ルカ見當ガ付キマセヌ、併シヨウノダニナガラ政府ニ於キマシテモ、大藏當局ノ邊リニ於キマシテハ、本件ニ關シ相当研究シテ居リマスノデ是等ノ政府全體ノ研究ガ出來テ、其ノ先チナイト思ヒマスルト云ノコトハ御答へ出來ナイト思ヒマス、御了承ヲ願ヒタム

○諸橋久太郎君　當金庫ト致シマシテハ資本金或、餘剰金等ニ對シマシテ、相當ノノ損失ヲ見込マレルト云フヨトニナリマスレバ、其ノ影響ハ非常ニ甚大ナモノト思ヒマスガ、御當局ト致シマシテハ大藏省ニ對シテ檢討ヲ待ツテ居ルト云(石川準吉君)　御質問ノナニウニ、是ハ非常ナ零細ナ農民ノ甚金ガ積重ツタ中央金庫ノ金ニアリマスノナツカ合合ニハ參<sup>マ</sup>セヌデセツウカニ<sup>マ</sup>テ、當局トシマシテモ其ノ點ヲ非常ニ何等カノ提案ヲシマシテ御盡力下サルナツカ

○政府委員(石川準吉君)　御質問ノナニウニ、是ハ非常ナ零細ナ農民ノ甚金ガ積重ツタ中央金庫ノ金ニアリマスノナツカ合合ニハ參<sup>マ</sup>セヌデセツウカニ<sup>マ</sup>テ、當局トシマシテモ其ノ點ヲ非常ニ何等カノ提案ヲシマシテ、結局色々ナ案ヲ考へマシテ、尙大藏當局ト折衝致シタイト考ヘマス

○諸橋久太郎君　只今御説ニアリマシタヤウニ、全ク零細ナ農民或ハ市街地等ノ庶民大衆ノ貯金ノ結集ガ本企圖ニ御心配ノ結果、少シデモ損害ヲ輕微ナラシメルヤウニ、是非此ノ上共大藏當局等ニ御運動下サルヤウニ切ニ希望テ止マナインデアリマス、以上ヲ質問ヲ終リマス

求モエザイマセデシタラバ質問ハ此ノ程度ニ打切り致シマス、御異議ゴサイマセヌカ  
論ニ移リマス  
○子爵北條魯八君 本法案ハ自任農ノ創設、農地ノ開墾ヲ初ニ耕種水産等ノ産業振興ヲ期シタル上ニ、特ニ現ニ緊迫セル食糧問題ノ解決、或ハハレ良用トシテノ生産ノ増産ヲ促進セシメマス、又ニニ過切ナル法案ト認メマス、私ハ一端ダケ希望ヲ副ヘマシテ本案ハ賛成致シマス、即チ本農林中央金庫ハ全國的ニ庞大ナル預貯金ヲ持ツテ居マシテ、又ソレガ改正ノ結果如人體體質成致シマス、即チ本農林中央金庫ハトナル譯デアリマス、此ノ點ニ鑑ミマテシテ政府ニ於カレマシテハ、之方經理ニ付キマシテハ一層嚴重ナ監督ヲサレマスト共ニ、資金ノ融通ニ當リマシテハ其ノ事業ノ輕緩急ヲ範クト御聽在願ヒマシテ、最も有效過切ナル運營ノ萬遺憾ナキコトヲ期セラレタイト云コトヲ申添ヘテ本案ニ賛成致シマス  
○委員長(公爵桂廣太郎君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
イト認メマス、只今ヨリ採決致シマス  
言ゴザイマセヌカ、外ニ御済音ガナケレバ討論ハ此ノ程度ニ終局シタモノトニ認メマス、是ヨリ、採決ニ移ルトニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

出席者左ノ如シ	午前十一時三十三分散會
委員長	公爵桂廣太郎君 御異議ナ イモノト認メマス、ソレデハ本法案ヲ 可決スルコトニ決定致シマス、是ニテ 此ノ委員會ヲ散會致シマス
副委員長	子爵安藤 信昭君
委員	伯爵四條 隆徳君
委員外議員	子爵前田 利見君
政府委員	子爵北條 隼八君
農林事務官	子爵土屋 尹直君
同	男爵内海 勝二君
佐野 慶次君	男爵中村 訾之君
同	男爵三須 精一君
佐野 太郎君	男爵倉富 鈴君
佐野 太郎君	中村藤兵衛君
佐野 太郎君	諸橋久太郎君
佐野 太郎君	佐々木嘉太郎君
佐野 太郎君	安田伊左衛門君
同	栗栖 起夫君
同	山地土佐太郎君

Digitized by srujanika@gmail.com

Digitized by srujanika@gmail.com